

## ■ 『凍結による転倒のリスクの見える化』 ■

当作業所は10月下旬から最低気温が氷点下まで下がる日があり、霜が降りた箇所が凍結することがある。凍結した箇所です足を滑らせ、転倒すると骨折等による休業災害が発生する危険がある。そこで、下記の写真の様に、凍結すると転倒のリスクが高い箇所をKYマップによる「見える化」を図り、工事関係者に転倒のリスクが高い箇所を周知した。

